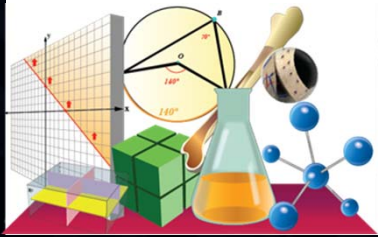


モデルを作って考えよう！サイエンスとテクノロジー

開催期間：平成26年8月23日（土）

12:30 ～ スタート

会場は
岐阜大学教育学部
1Fフロアです



参加者募集！

申込者 多数の場合は抽選です。

対象：小学5年～中学生

算数、数学、理科、技術の授業が
好きなら大歓迎です。

当日のプログラムの内容を少しだけ紹介しましょう！

①知ってるつもり「影」を探る



岐阜大学教育学部で算数、数学の研究をしている河崎せんせのおはなしから始まります。光のあるところには必ずある「影」。その真実の姿に、算数、数学で学んできた内容から迫ります。

②疑いたくなる気持ちに気づきます



このイラストを見てたまされてみたくありませんか、「嘘は真実の影」という言葉から、実際に目にしてしまおう、数学のふしぎな現象「錯覚」をつくりながら楽しみます。

③最先端の3Dプリンタを体験



小学校や中学校で学んでいる算数、数学や理科の知識は、実は、目にしているものすべてに使われています。その中でも最新の3Dプリンタを用いて、ものづくりの最先端を見学頂きます。

④カフェ感覚で楽しく学べます



岐阜大学の教室で行いますが、ジュースとケーキも用意されています。カフェ感覚でおはなししながら楽しく学べます。しかも、ものづくりしたものはお持ち帰り頂けます。夏の自由研究にもピッタリ？

研究者がプロデュースする体験・実験・講演などを通して、そんな疑問に答えます。普段はめったに見ることができない研究者との対話などから、科学の楽しさ、難しさ、不思議に触れてみましょう。
算数、数学でつながるサイエンスとテクノロジーに興味と関心のある小学5・6年生・中学生のみなさんのお申し込みをお待ちしております。

どのような**研究**を体験できるの？

①影のかたちや長さから元のデザインを推測



たとえば、右の影はある時間のサッカーをしていた人の影の形です。影をつくっている人は同じ人とボールなのに、どこかおかしく感じませんか？

この影から元のデザインについてイメージをし推測するための手法、教育方法について研究しています。

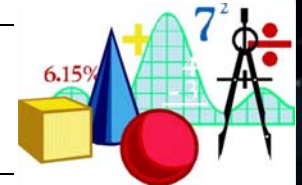
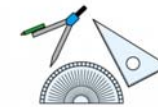
②数学と科学・生活との接点の教材研究



数学は目に見ること、耳で聞こえるもの、手で触れるものなどの発展にとっても大きな役割を果たしています。それらを知るために、また応用するために必要な教育方法や教材の開発を行っています。見て、触れて考える教材について研究をしています。

当日の持ち物（必ずご準備ください）

筆記用具、はさみ、のり、三角定規、分度器、コンパス、色鉛筆



お申込み・お問合せ先

※お申し込みは、「ひらめきときめきサイエンス」をクリックもしくはインターネットで検索の上、ホームページ上からお申し込みください。



<http://www.jsps.go.jp/hirameki/ht26000/HT26140.pdf>

保護者同伴での授業の参加はできませんが見学は可能です。